

令和8年度

進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校

第1号

令和8年4月29日発行



「体験しながら学ぶ」

校長 高田屋 陽子



「おはようございます」。新学期を迎え、校内に元気なあいさつが響いています。

自分からあいさつする人、先生のあいさつににっこり笑顔になる人、じっと耳を傾けて手を上げたり、まばたきをしたりしてあいさつを返してしてくれる人……。一人一人表現は異なりますが、確かに温かなコミュニケーションが生まれています。

「進路」というと「卒業後の行き先」と捉えがちですが、その意味はもっとずっと広いと考えます。自己表現も含め自分の力を十分発揮し、人や社会と繋がりながら豊かに生きること。そのために日常生活の力をつけたり、人との関わりを少しずつ広げたり、自分の好きなこと得意なことを理解して自分の現在や将来についても少しずつ考えていくこと。

また、子どもたちの学ぶ姿を見ていると、「知る」「体験する」「考える」ということを繰り返しながら、新しいことにも挑戦していく様子が多く見られます。最初は先生方や友達と一緒に体験したり、友達や先輩の様子を見て自分もやってみる勇気がでたり。人と人が関わり合う中で育っていくことがたくさんあることに気づかされます。家庭の応援もとても重要です。今年度も保護者の方とも一緒に進路について学びながら子どもたちを応援していきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。



未来につなぐ学びの積み重ね ～進路指導部で大切にしていること～

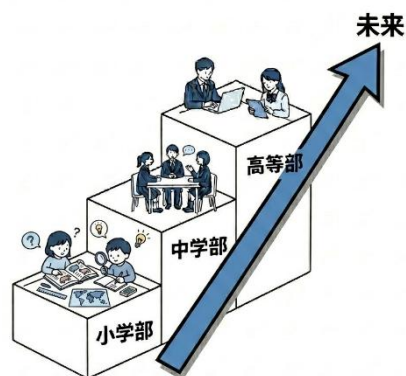
小学部から高等部までの学びの積み重ねが、一人一人の「これから」をつくっていきます。進路指導部では、次のことを大切にし、お子さんの成長を支えています。

◆体験を重ねて、自分を知る

学校生活の全てが、進路につながる学びです。身の回りのことに取り組むこと、人とやり取りすること、校外学習や作業学習、現場実習で社会に触れること。その一つ一つが、「できた」「もう少しやってみよう」という気持ちを育て、自分の好きなこと・得意なことを増やし、将来を考える力になります。

◆小学部から高等部までの緩やかな流れ

小学部で生活する力を育て、好きなことや得意なことに出会います。中学部で活動の幅を広げ、自分で選ぶ経験を重ねます。高等部では、実習や見学を通して進路を具体的に考え、決めていきます。どの学部にも、その時期にしかできない大切な学びがあります。お子さんのペースに合わせて、一歩ずつ進めていきます。



◆一緒に考える「進路」

お子さんの進路は、学校だけで決まるものではありません。ご家庭での様子やお気持ちを伺いながら、一緒に考えていきたいと思っています。気になることがありましたら、担任や進路指導部までお声掛けください。

〔文責：進路指導主事 加藤俊之〕